

「防災の心」地域と共有 新潟県副町村長会議で部外講話実施



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、10月5日（月）新潟グランドホテル（新潟市中央区）で行われた新潟県副町村長会議において部外講話を実施しました。



これは、新潟県副町村長会議の議長である出雲崎町副町長山田正志（やまだ まさし）氏の依頼により、広報室長（1陸尉 鈴木勝太）が「自衛隊の災害対応について」をテーマに近年発生した災害に対する自衛隊の災害派遣活動状況と「地域防災マネージャー」制度を説明し、全国的にニーズが増大している防災・危機管理監等の紹介を行ったものです。



講話では東日本大震災や熊本地震などの地震災害、平成30年に発生した豪雨災害、昨今発生している巨大台風による被害等における人命救助、生活支援等の災害派遣活動を取り上げました。また、県を含め8市町村で活躍する防災・危機管理監等の役割を紹介し、経験豊富な即戦力として退職自衛官を採用するメリットを紹介しました。

講話の後、参加した副町村長からは「自衛隊の皆様には本当にお世話になっており、各種災害における自衛隊の即応力、頼もしさを再認識した。今後更なる連携強化のため、防災のプロである退職した自衛官の採用を前向きに検討していきたい」などの感想を聞くことができました。

新潟地本は、今後もこのような機会を通じ、積極的に自衛隊及び退職後も活躍する自衛官の姿を紹介して、自治体との連絡の強化を図れるよう広報業務に邁進していきます。